

第2期めざせ！ 子ども司書講座 新聞 第4号

貸出と返却！窓口サービスを体験！

皆さんが図書館にきて一番最初に司書さんとお話できる場所が窓口です。窓口では、本を貸したり、返してもらったり、本の相談を受けたりしています。また、窓口は利用者さんと図書館員がコミュニケーションをとる大切な場所でもあります。第3回目の講座で窓口体験の練習をしましたが、今回は本番です。一人数十分間でしたが、窓口に立って利用者さんが借りる本の手続きをしたり、本の返却手続きを行いました。今回の窓口での体験が、子ども司書のみなさんにとって、たぶん一番楽しみにしていたものの一つであったと思います。

はじめは緊張して挨拶ができなかったり、恥ずかしがってしまう子もいたけど、みんな元気良く対応してくれました。夏休みなので学校のお友達が来ていたりしたけれど、図書館員らしくしっかりと対応をしていました。体験後、『もっとやりたかった』『簡単そうだったけど、やってみると難しかった』という感想がありました。潮来図書館の場合、本の貸出・返却手続きをするときはパソコンと専用のシステムを使います。もちろん、操作方法を覚えていないと、なかなかスムーズに

できません。貸出・返却手続きのほかにも本を検索したり、本のデータを登録したり、図書館のあらゆる仕事にパソコンのシステムを使っています。皆さん、事前練習の成果がでていました。



とても大切な本棚の整理整頓！

窓口での体験が終わった後は、本棚の整理整頓の作業を行いました。図書館には沢山の本があること、それぞれ分類ごとに整理され本棚に並んでいることを学習してきました。

図書館はたくさんの方が利用するので、本の並びがみだれている場所があります。次に利用する人が見つけられるように、正しい位置に本を戻しておかなくてはなりません。全然違う場所に置いてしまうと、探すまでに時間がかかってしまいます。そのために、図書館では日々、本棚の整理整頓をしています。書架整理と呼んでいます。整理整頓するだけでなく、古くなった本、新しいシリーズが発売されている本、調べものに役立ちそうな本、十分な数がそろっていない本など、いろいろな本を調べたり、見つけたりすることができます。このような作業を積み重ねていくことで、図書館にはどんな本がそろっているのか覚えていきます。実際にやってみた皆さんの感想には『とても疲れた』『窓口の体験より難しかった』などがありました。実際は体力仕事なのです。でも、みなさんは最後までやり遂げました！

